

# 資料編

## 目 次

策定委員名簿	1
策定の経過	2
令和2年度 第1回 市政モニターアンケート	3
富士宮市協働の指針策定に伴うNPO等アンケート	11
富士宮市協働の指針策定に伴う企業等アンケート	24
富士宮市役所【協働に関する職員意識アンケート】	27

## 富士宮市協働の指針策定委員会名簿

	役職	氏名	所属・役職等	備考
1	委員長	日詰 一幸	静岡大学 人文社会科学部 教授	学識経験者 (大学教授)
2		佐野 順一	富士宮市区長会 上井出支部長 猪之頭区長	市民 (自治会)
3		遠藤 崇浩	ENS グループ 代表 中小企業同友会会員	市民 (企業)
4		渡辺 孝秀	NPO 法人 まちづくりトップランナーふじのみや本舗	市民 (NPO 法人)
5		齋藤 葉月	富士宮さくや塾 塾長	市民 (市民活動団体)
6		勝又 大輔	富士宮駅前交流センター指定管理者 公益財団法人 富士宮市振興公社 職員	行政等職員 (市民活動担当)
7		杉沢 郁美	富士宮市総合福祉会館指定管理者 社会福祉法人 富士宮市社会福祉協議会 職員	行政等職員 (ボランティア担当)
8		宇佐美 巧	富士宮市市民部長	行政等職員

## 協働の指針策定の経緯

令和2年8月19日	第1回 策定委員会	アンケート結果・指針の構成について
令和2年9月11日	第1回 庁内検討会	協働の指針（素案）について
令和2年9月24日	第2回 策定委員会	協働の指針（素案）についてはじめに～2現状と課題まで
令和2年10月29日	第3回 策定委員会	協働の指針（案）について 3協働とは、4協働の推進方針
令和2年12月14日	第2回 庁内検討会	協働の指針（全体案）について
令和2年12月25日	第4回 策定委員会	協働の指針（案）について 4協働の推進方針 全体の確認
令和3年1月8日 ～2月8日	パブリックコメント実施	
令和3年2月19日	第5回 策定委員会	パブリックコメント結果について
令和3年3月19日	市長決裁	

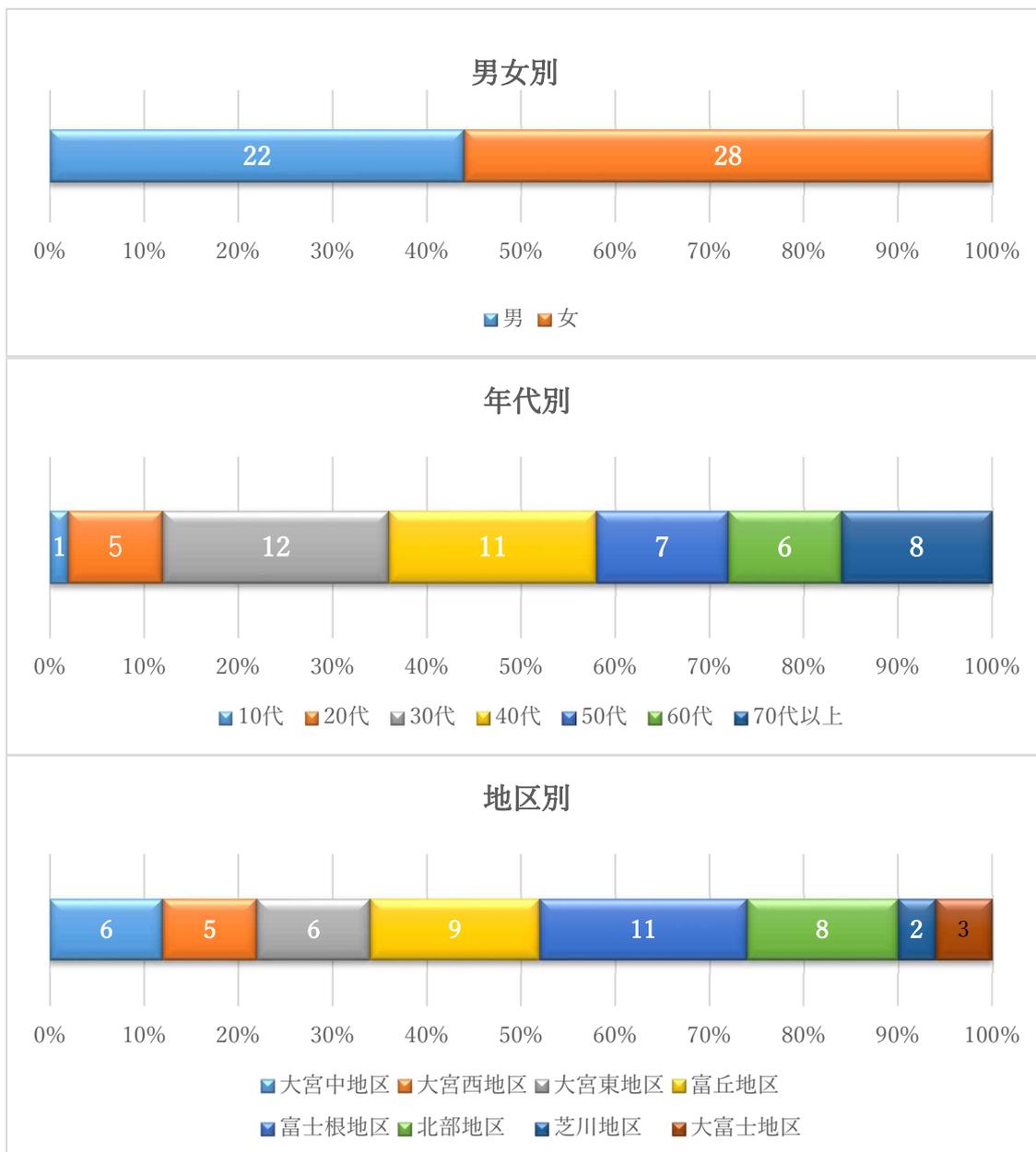
令和2年度 第1回市政モニターアンケート

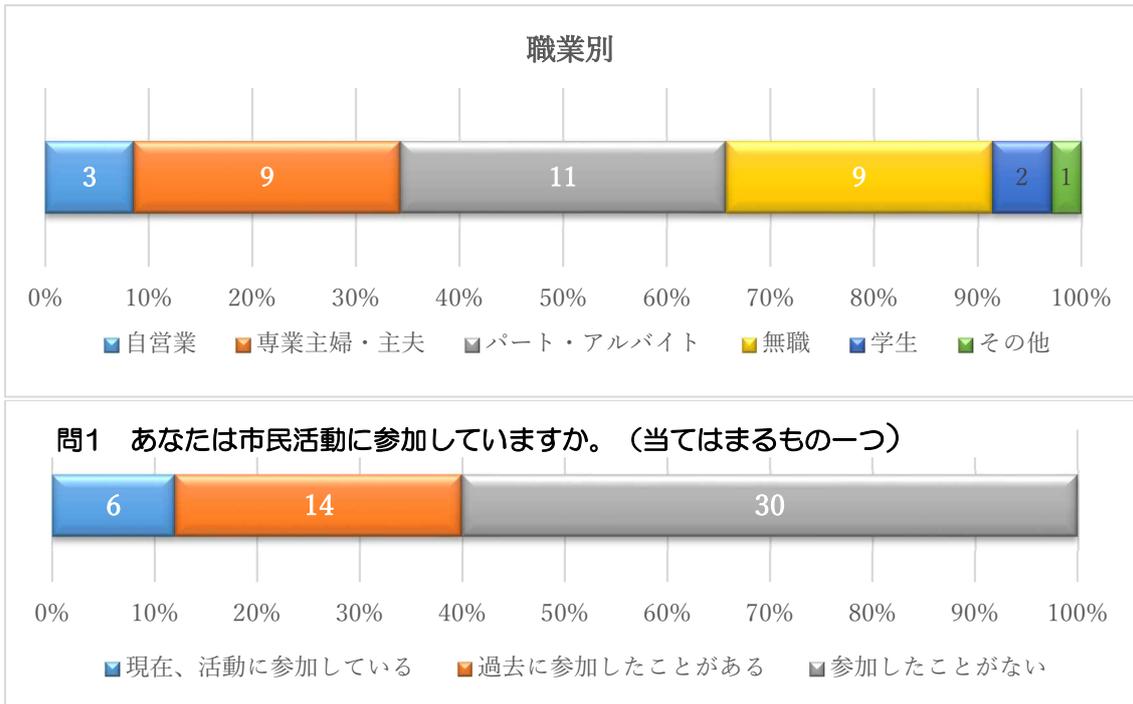
「市民協働によるまちづくり」について

実施日 令和2年6月29日(月)～7月10日(金)

対象者 市政モニター50人(任期：R2.4.1～R3.3.31)

回答率 50人/50人(100%)





●問1で1又は2と回答した人に伺います。  
 問1-2 参加している(参加していた)市民活動の内容を教えてください。複数ある人は、できるだけ記述してください。

20代女性	自治会の防災訓練
30代女性	防災訓練
30代男性	子供見守り隊
40代男性	町内会の役員、町内清掃等、防災訓練
40代女性	自治会の活動、母親学級、育児教室、公民館での家庭教育学級やイベント参加、親子水泳、体操教室、パソコン講習会、講演会、英会話教室、日本語ボランティア
40代女性	子育てサロン、母力
50代女性	子供会会長、町内会会計、婦人会会長
50代女性	市政モニター、町内会長、区夏祭実行委員長
50代男性	県政モニター、英会話講座参加、自治会の主催するイベントに参加
60代男性	自治会(区)役員
60代男性	子供会会長
60代女性	食育ボランティア
60代女性	市の一斉清掃
70代女性	POSパトロール隊で15年間夜の市街パトロール。富士見小で1年生を安全に家まで送る活動を立ち上げ、現在も続いています。
70代男性	自主防災、河川清掃
70代男性	自治会で行っていた草刈り

70代男性	高齢者の体力推進
70代男性	自治会活動、交通安全、観光ガイドボランティア
80代男性	居住地域の生活排水溝の定期清掃(総延長400メートルの排水溝を毎月、年間18回、約40年間続けている。市主催、花壇コンクール(団体部門、個人部門)に参加。オープンガーデングループで私邸の庭、原野開拓の花畑を一般公開。絵画グループで毎年、市民文化会館で開催。ヨガ教室(公民館)に参加。
80代男性	富士山清掃 富士宮駅伝スタッフ 植樹祭 草刈り

●問1で1又は2と回答した人に伺います。

問1-3 市民活動に参加したきっかけは何ですか。(当てはまるものすべて)



自由記述：大阪池田小事件をきっかけに

●問1で2又は3と回答した人に伺います。

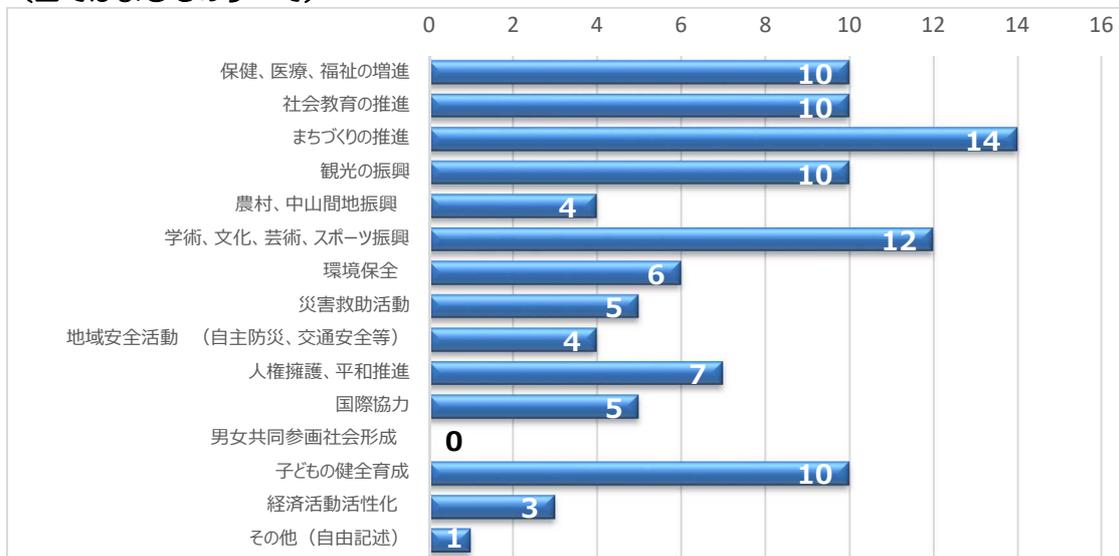
問1-4 今後、市民活動に参加したいと思いますか。(当てはまるもの一つ)



●問 1-4 で 1 と回答した人に伺います。

問 1-5 市民活動に参加するならば、どのような活動に参加したいと思いますか。

(当てはまるものすべて)



【その他】 歩行困難の為テレワークのみ

●問 1-4 で 2 と回答した人に伺います。

問 1-6 参加したいと思わない理由は何ですか。

20 代女性 時間の余裕がないため

30 代男性 育児、仕事で多忙のため

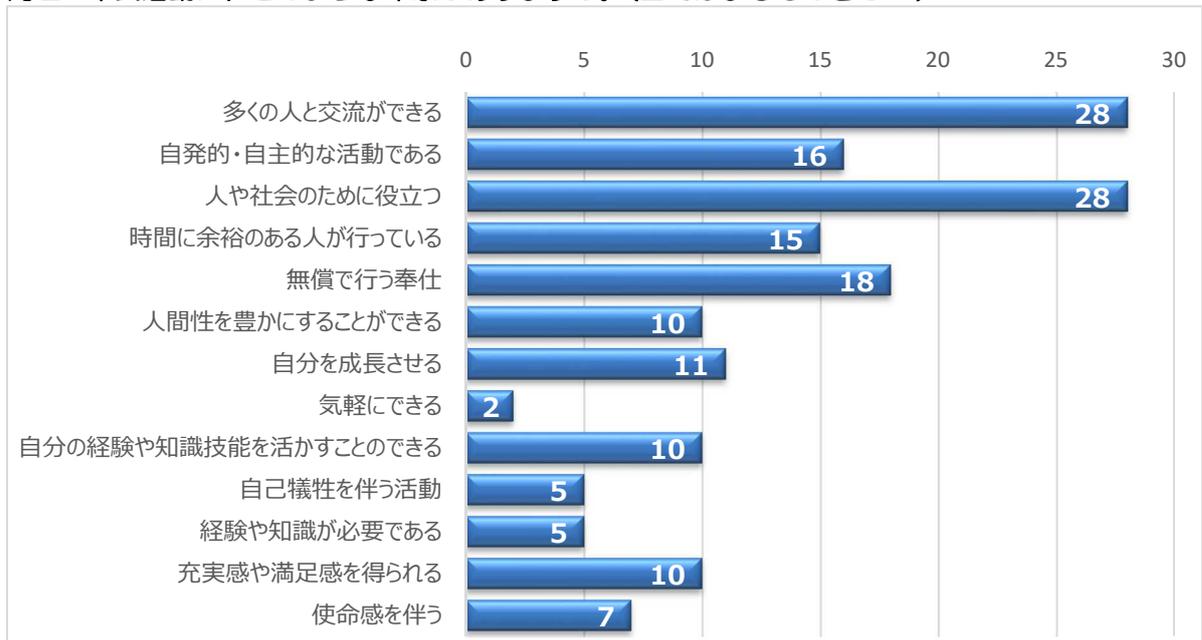
40 代男性 面倒くさいから

50 代女性 体調が悪いため。

50 代男性 現代においては有償のボランティアがあっても良いと考えています。一度参加すると、次、また次にと断れなくなって、心苦しい思いをすることになる。制約、制限、強制がついて回りそうで私は嫌いです。

●全員に伺います。

問2 市民活動に、どのような印象がありますか。(当てはまるものを3つ)



自由意見】40代女性 子供が経験できる  
50代男性 自己満足ではないでしょうか。

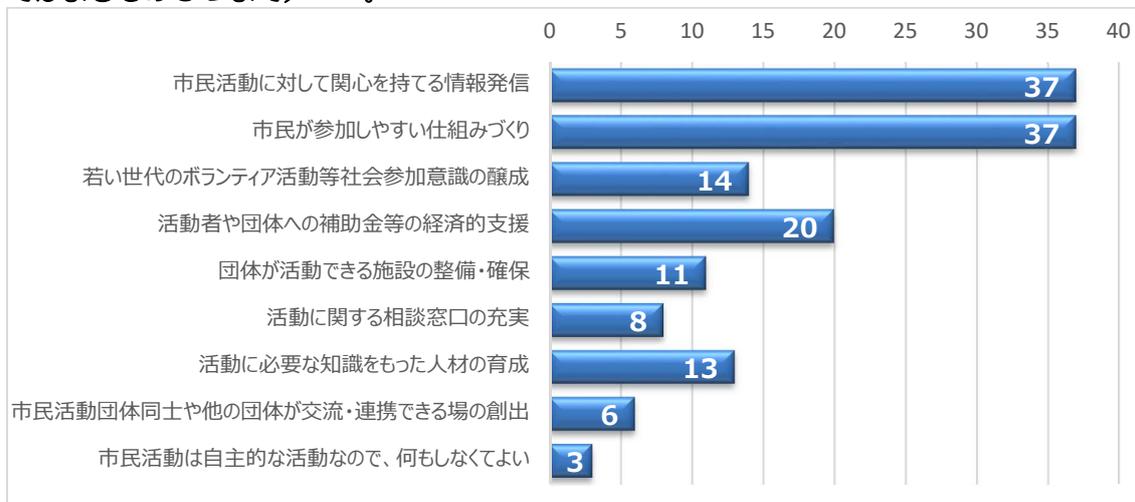
●全員に伺います。

問3 市民活動と行政との関係のあり方についてどのようにお考えですか(当てはまるもの一つ)



●全員に伺います。

問4 富士宮市で市民活動が盛んになるためには、どのようなことが必要だと思いますか（当てはまるもの3つまで）。



問5 企業が社会貢献活動を行うことに期待しますか（当てはまるもの一つ）



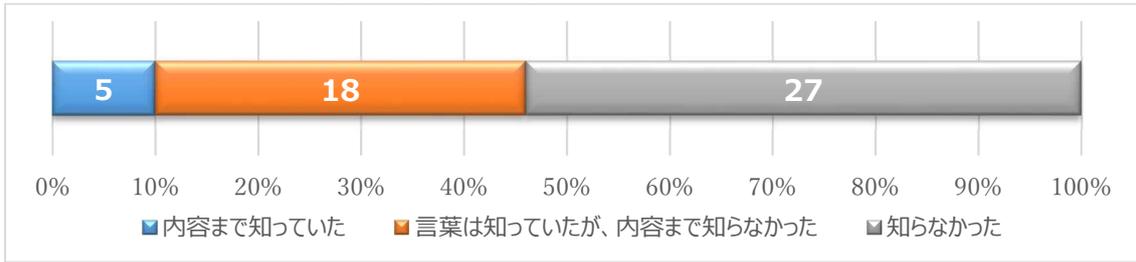
問5-2 どのようなことに期待しますか（当てはまるものすべて）



問5-3 期待しない理由は何ですか。

期待しても無駄だから／昨今、企業の社会的、地域的役割が言われていますが、存続＝利益の追求です。何でもかんでも期待することは無理があり、また浅ましい姿であると考えます。ただ程高いものはないのです。

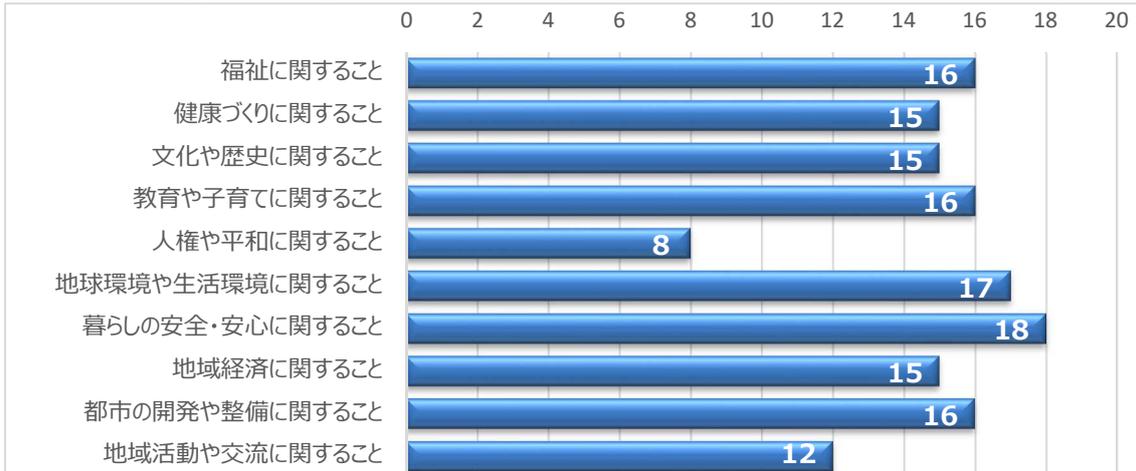
問6 「市民協働」という言葉やその内容を知っていましたか



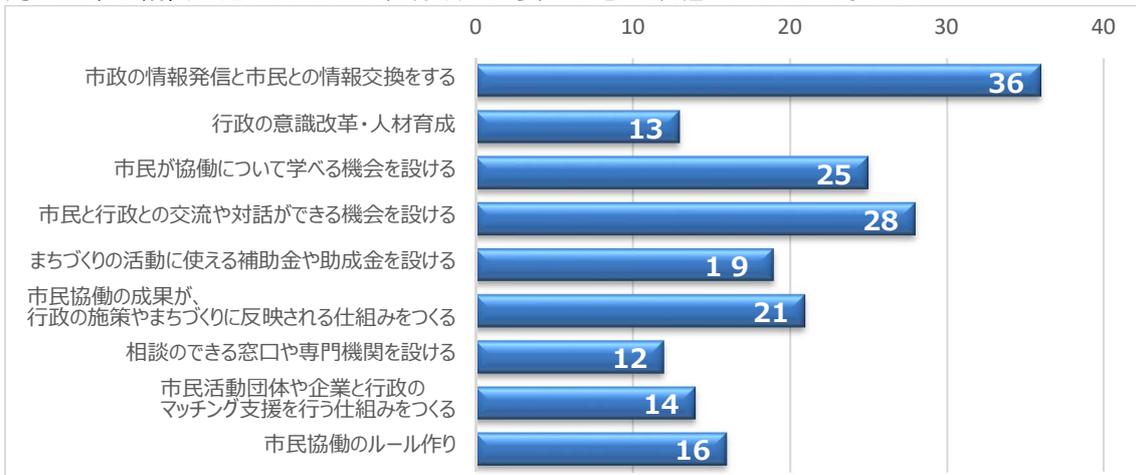
問7 まちづくりを市民協働で進めることについて、どのようにお考えですか。



問7-2 市民協働で取り組んだほうが良いと思う活動はどれですか。(当てはまるものすべて)



問8 市民協働を進めるために、行政に必要なと思う取組はどのようなこと



問9 市民協働を進めるために、市民が取り組んだほうが良いと思うことを教えてください。  
(当てはまるものすべて) また、その理由を教えてください。



富士宮市協働の指針策定に伴うNPO等アンケート

「NPO等市民活動団体の活動と協働について」

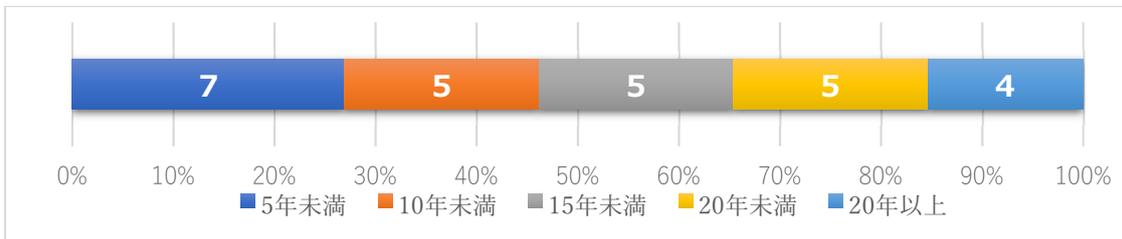
実施期間：令和2年7月6日（月）から7月21日（金）

依頼方法と依頼団体数

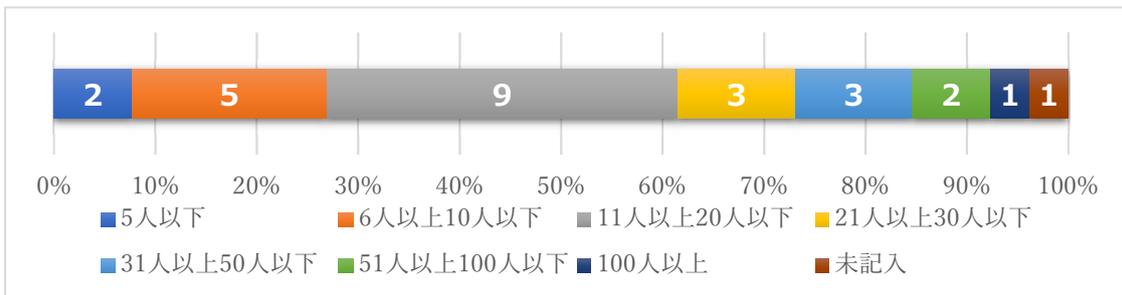
郵送	NPO 法人	8
	市民活動団体	8
メール	NPO 法人	26
	市民活動団体	32
計		74

回答団体数：26 団体、回収率 35.1%

問1 貴団体は設立して何年目ですか



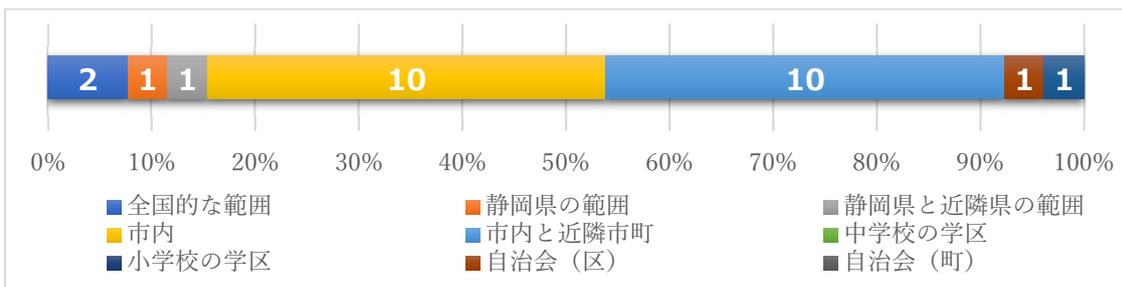
問2 貴団体の会員数は何人ですか



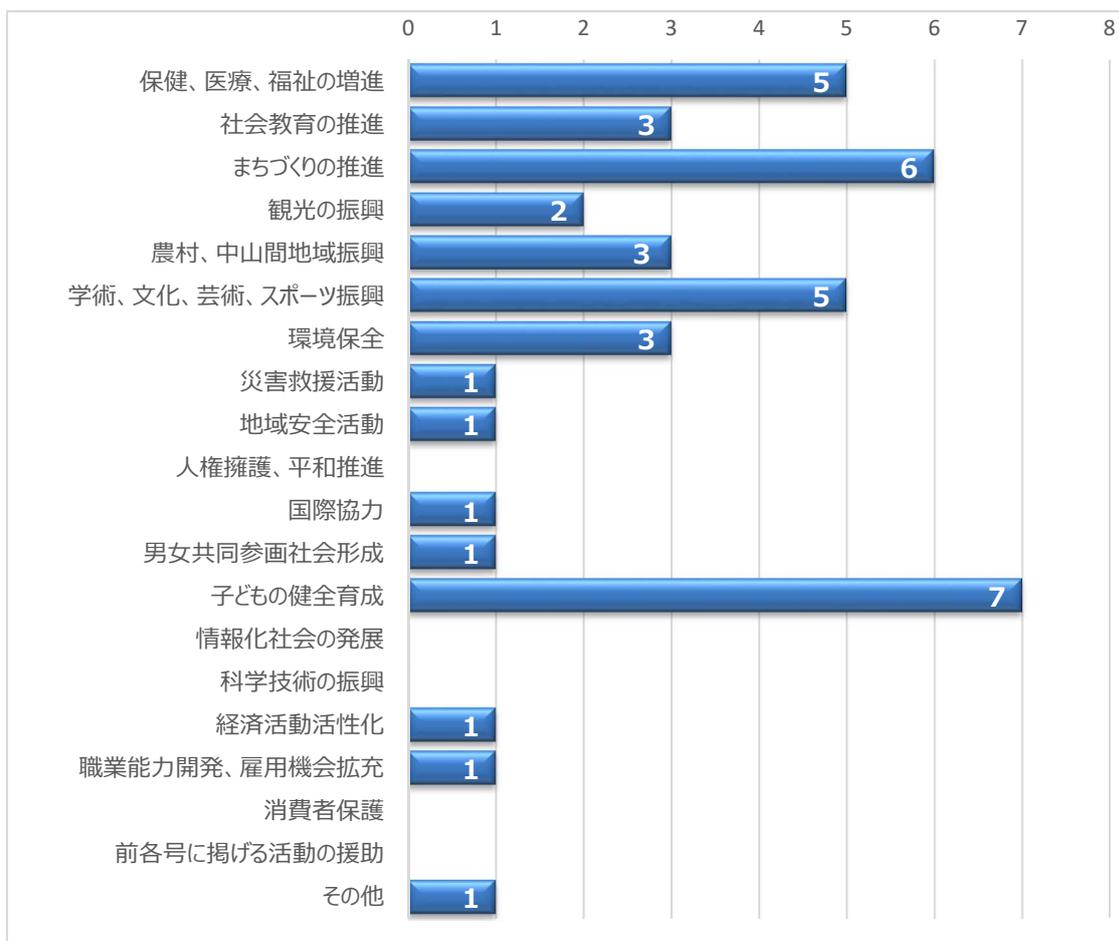
問3 うち、主に活動している人数は何人ですか

平均活動人数 11 人

問4 主な活動地域を選んで下さい。



問5 主な活動の分野は何ですか。(主なもの2つまで)



問6 具体的に、どのような課題があるとお考えですか。下記に御記入下さい。

問7 問6の課題を解決するために、どのような活動をしていますか。

問6	問7
子どもに参加してもらい先祖、家族の絆、命の大切さを家族で話してもらいたい。」町の風物詩になるように町中の協力が必要	知人、団体にアピールしている。
地区に地域デビューしていない人が多い。(運動会とか夏祭りとかは来るのだが、何かの役員などは徹底的に避ける傾向がある人が多い。そういう人たちが気軽に参加できる規模の小さなイベントをたくさん開き、チャンスを与える必要がある。	区民館にWi-Fiを入れて、Wi-Fi利用講座(Google講座とかYoutube講座等)を実施。お花を地域に植える会を実施。地域ラジオ体操を実施。文化祭を実施。
キャンプを開催したり、各種イベントを企画運営しているが参加者が少ない。参加費が安いと参加者は多い。	助成金支援などを活用して、参加費を格安にしている。

富士宮市協働の指針策定に伴うNPOアンケート

Enote は本来、相続や贈与、老後の経済の指標、より良い生活を過ごすためのものだと思うので、Enote の担当者とお話をしたい。	行政書士にお力を借りてセミナーを行う予定。また自分の知識を上げるために、終活カウンセラー協会の主催するセミナーに参加しています。
高齢者の健康についての問題。高齢ドライバーの安全運転について	健康づくりに対してイベントを開催。参加を促す。高齢ドライバーの運転免許の返納の呼びかけ
(学術、文化、芸術、スポーツ振興)(国際協力)東京オリンピック・パラリンピックが一年延期になり、様々なイベント等が不確定になったこと	団体ではどうすることもできないが、団体の活動として SNS やリモートを利用し情報発信や交流を続けています
障害の方が対象なので専門的知識や実際の介助(緊急緊急のみ)	有資格者や経験者を増やしていく当事者の御家族の参加もお願いする
スポーツ協会主催の大規模イベントの推進	賛同者を募り資金計画を立てる
利用者の工賃の向上	利用者の意欲を高める作業内容の拡充、新メニューの開発、自家野菜の栽培
子供のスポーツ離れ、子供会等がなくなり地域コミュニティの減少、規制が多く自由に運動できる場所がない	安全に活動できる小学校体育館を利用させていただき、インラインスケートを誰でもが楽しめる環境を提供し、競技、競技しないスポーツを通じ学区や年齢に関係ないスポーツコミュニティを目指す活動をしている。
富士宮市民の富士宮への愛かな。おらが街という意識が低い気がする	富士宮への地元愛を高めるようなイベント創出、賑わい創出、地元特産品を活用した商品開発、SDGs 実践、なにより活動を通しての高校生の人材育成です。
①会員の高齢化・・・ヒト ②ボランティア本部のサテライト(北部・芝川地区)の施設のみ設定。 ➡市役所が指定する・・・モノ ③市、社協からの助成金等の支援不足・・・カネ ④情報提供のシステム構築不足・通信システムの構築不足・・・情報	①VC 養成講座・広報啓もう活動 ②危機監理局への働きかけ ③市・社協双方への働きかけ。募金活動。災害時積立金開設。 ④通信…会員個人にて衛星電話、災害時有線電話、業務無線、アマチュア無線等購入、運用
自然エネルギーの地産地消	小水力発電の普及
高齢化	新人募集で若返り(隔年に定期的に実施)
活動内容が特殊であり、一般的にわかりにくく、理解されにくい	地域のイベントへの参加。社会資源の活用。自主製品が熱転写により、布製品に企業のロゴ、

	静岡県内のゆるキャラ等をプリント)静岡県のブランド認定を受けた。
高地という地域性を生かした特色ある特産品開発に取り組んでいるが、独自のネットワークでは情報が限られているので、市の農業政策課等を含めて情報提供がいただける関係構築ができればと思っています。	現在は、富士農林事務所との連携で情報収集に取り組んでいるものの、大きな進展はない。
圧倒的に活動資金。作家を呼びたくても、交通費や宿泊費など出せない。人件費。	地元の作家中心。有る程度作家も負担。わずかな額でも販売。
①2020年2月ごろまで;ボランティア活動なので、家族の理解が得られにくい。(活動をする暇があったら金を稼げと言われる) ②2020年3月以降;コロナ禍の終息に見通しが立たない中で、拡大防止対策(密集を避けた運営、検温、備品の定期的な消毒など)が十分に取れず、活動自粛が続いている。 その一方で、支援を必要とする当事者の状況はひっ迫しており、活動が求められている。	当事者とオンライン上でつながり合い、支援情報の提供をしている。また、当事者の声を集め、行政に届ける活動は継続している。感染防止対策(密集を避けた運営、検温、備品の定期的な消毒など)を積極的に支援・協力してくれる施設でのみ、今後活動再開を検討している。
休耕地の増加、定年退職者の生きがい、運動不足	休耕地を借り、集団農業を実施、生徒、学生に向けた農業体験学習を農政課支援で実施
単一の組織・団体だけでは質の高い成果を挙げることが困難なテーマであり、地域の理解のもと、様々な主体が得意分野を發揮しながら対応していかなければならない。	行政や地域団体等もメンバーに入る形の協議会に加えていただきながら活動を推進している。また、多主体によるゆるやかなネットワークを図りつつ活動そのものが継続できるような仕組みづくりを意識している。
7,環境保全:SDGs14 海の豊かさを守ろう 富士宮市内から駿河湾に流れ出ている大量のプラスチックごみ等は潤井川から流れでてしまう。 13、子どもの健全育成:富士宮市内で確認できる子どもの貧困・生活困窮への対応とし子ども食堂等の数が少ない	7,環境保全:SDGs14 海の豊かさを守ろうを目標に定め、私たち団体では川から発生するマイクロプラスチック0(ゼロ)を目指し、子どもたちを中心に自然環境保全する活動や次世代育成教育、事業名「うるいがわたんけんたい」を静岡県・富士宮市と協働リバーフレンドシップを締結し実施中 13、子どもの健全育成:SDGs3 すべての人に健康と福祉を目標に定め、富士宮市市民交流課・子ども未来課と協働し「子どもで食堂」を毎月開

	催。また、ボランティア養成講座開催し支援者を拡大している
団体や活動内容の情報発信。スタッフやボランティアの募集方法と告知	ブログやフェイスブックの告知、市内小中学校への協力依頼、公的機関への情報提供 知人友人へのチラシ配布や SNS 活用
①富士宮市全体の総合的な地域力をコーディネートしていくこと ②コロナ禍時代における新しいライフスタイルに対応したまちづくり	現在検討中
子育てを取り巻く現状は、時代の変化に伴い、電化製品や育児関連商品などの進化は著しいのにも関わらず「子育てがしやすい」と答える母は少ない。原因は、妊婦・産後1年・1年以上の各時期の支援の切れ目、ネット普及・SNSの発達による情報過多、核家族の増加、男性の長時間労働の常習化、日本の若者の自己肯定感の低さなどが、 多面的複合的に関係していると考えられる。	産前から産後へと変わる女性のこころと体、そして環境の変化を迎える女性に寄り添い、少し先をいく先輩で あるピアスタッフと各専門スタッフが知識と経験で支え、切れ目なく包括的にサポートする居場所の運営、子育てしながら自分の居場所、役割を見出していく活躍の場の創出、子育てを当事者だけでなく、地域・社会全体を巻き込みながらする環境を創る活動

問8 貴団体が活動を行う上での課題は何ですか（主なもの3つまで）



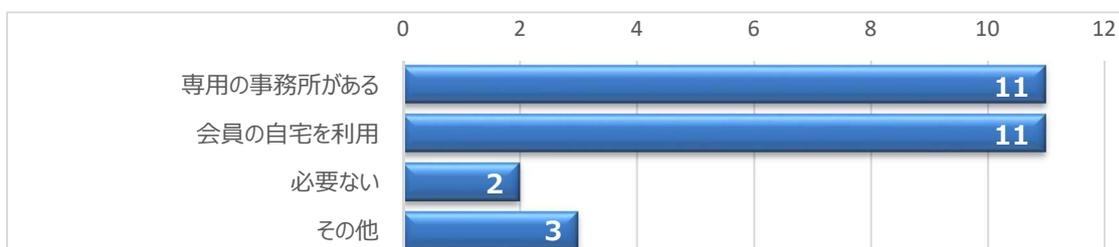
【その他】年金が65歳からなので、活動できる元気な人が集まらない。／仕事や家庭との両立／あくまでボランティア活動なので準備時間が不足している

問9 貴団体が活動を行う上で、経済的負担が大きいものは何ですか(主なもの3つまで)



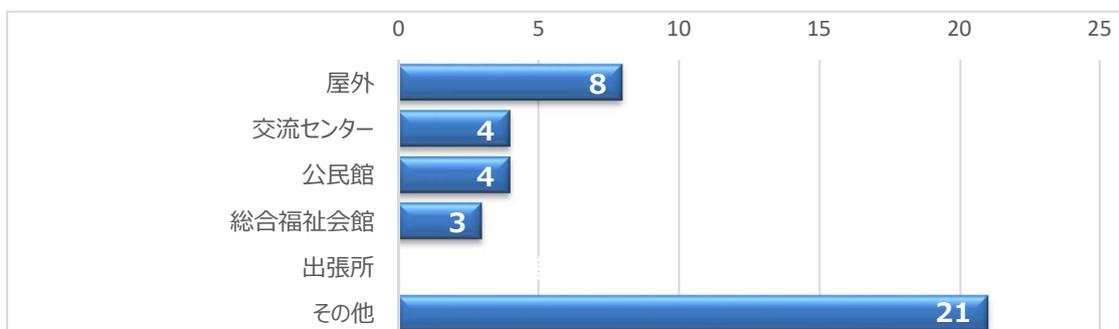
【その他】草刈の人件費

問10 事務所等拠点がありますか



【その他】区民館を拠点としている

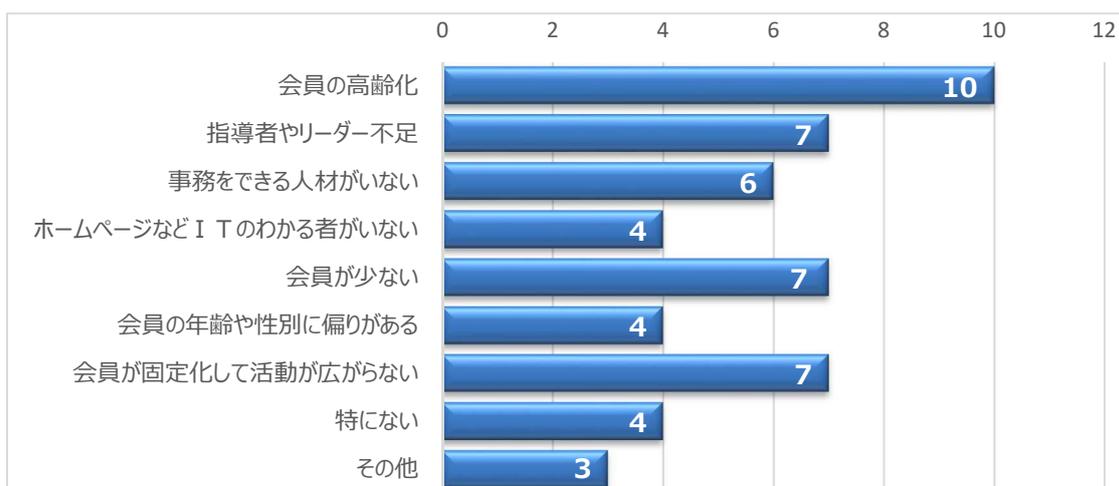
問11 活動はどこで行っていますか(複数回答可)



【その他】屋外／発電サイト／近隣公園等／畑・小屋／市内の自然が豊かな場所など／歩行者天国など／各種依頼場所／お寺、施設／事業所・富士宮駅・商店街／

小学校体育館・白糸ふれあいホール／西町レトロ館、依頼があれば、西公民館での活動等／自主防災会集会所、区民館等／寄って宮、構成資産案内所等／専用施設／富士山環境交流プラザ／社会教育施設、自前の施設など／保育園や児童クラブ等の児童福祉施設／協力者の自宅／自団体の拠点

問 12 貴団体が活動をするうえで、人材面で困っていることは何ですか（主なもの3つまで）



【その他】指導者やリーダーの高齢化／今年は新型コロナで、新会員募集が特に難しい／育成プログラム・評価制度がないこと

問 13 困ったときにどこに相談しますか（複数回答可）



【その他】知人／市役所担当課・相談支援事業所／適宜相談している／市役所担当課／必要に応じて相談先を見つけている／会員間で相談／同業の他団体

問14 交流センターは市民活動団体の活動の支援を行っていますが、どのような内容で利用しましたか（複数回答可）



【その他】 法人としては利用したことはない / お弁当の注文をいただく / DM配付

問15 富士宮駅前交流センターは、市民活動団体の活動の推進をおこなっています。市民活動団体の富士宮駅前交流センター利用を促進するためにどうすれば良いと思いますか。（主なものを3つまで）



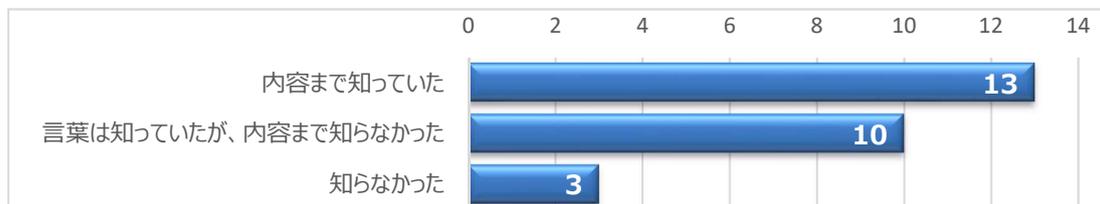
【その他】 もっとネットを利用し発信したほうが良い

問16 問15について、具体的な希望や案があれば記入してください。

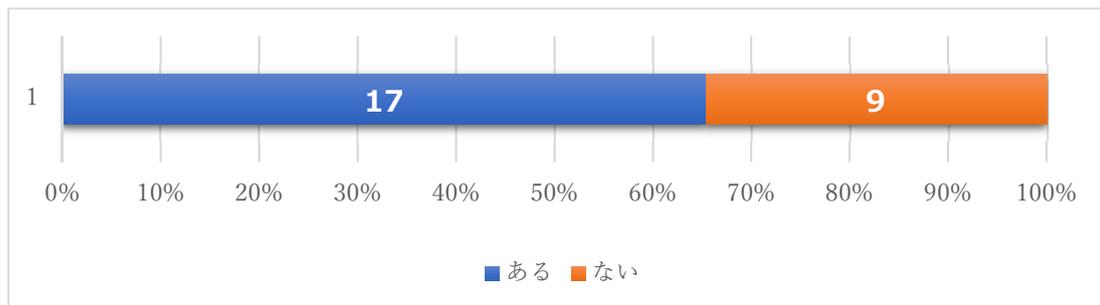
- ・軽い飲食を交えた気軽な交流会があると話やすい。さらに新しい技術など(例えば Google Jamboard)を利用して、研修を兼ねてやると面白いですね。
- ・調理室を利用することがあるが、1日無料にしてほしい(活動時間が短くなってしまう)
- ・市民活動をされている方達は魅力のある人が多いのでぜひいろいろな方面の意見を聞きたい
- ・富士宮市主催の相談会やセミナーの開催

- ・市内の団体の活動がすべてわかるようなホームページを作成し発信する
- ・「会」として必要な知識の講習
- ・①市民活動団体がセンターを利用する際には
  - 【1】 駐車場料金を無料にすること。
  - 【2】 コピー料金を割り引きすること。
- ・②広報ふじのみやに市民交流課の「市民活動情報」のコーナー（ページ）を設け、
  - 【1】 NPO法人や市民団体によるイベント情報が掲載できるようにする。
  - 【2】 市内NPO法人や市民団体の活動や成果を毎月紹介する連載をする。
- ・ イベント時の情報を広報やSNS等ではっしんしてもらえたら好い
- ・ 市民がボランティア活動や団体情報を手に入れることができる専用ブース
- ・ 市民協働活動センターという権限と予算を持った行政と独立した組織の設立。
- ・ 市民活動団体が交流できるネットワークの設立
- ・ 会員が活動する際に必要となるボランティア保険の費用や市の市民活動共済保険の活用
- ・ 駅前交流センターの中に活動団体が日常的に集まれる興隆拠点の場所がほしい
- ・ 協働やNPO団体の組織がより強固になる内容のセミナーを企画してほしい  
 （講師例：NPO法人育児の魔法、鶴岡なりわいプロジェクト→協働推進、東大手の会のバックオフィス講座など）。講座の企画運営を委託していただければ企画提案いたしますのでご相談ください。）

問17 「市民協働」という言葉やその内容を知っていましたか。



問18 市との協働の経験がありますか



問19 あると答えた団体にお聞きします。よかったことは何ですか

- ・助成金
- ・市の広報に掲載されたこと。協働すると新聞にも載りやすい。地元民の信頼も得られるようになる。
- ・講師派遣などに助成金を活用できたこと
- ・当団体では分からない仕組みや方法を助言していただきました
- ・特にない
- ・学校施設がスムーズに利用できた
- ・30年やってきて1度だけ良かったと思いましたが、最近はありません
- ・市の積極的な協力を得られた
- ・「広報」をさせてもらった。補助金をいただいた。
- ・独自では、負担しきれない資金面での支援が極めて友好であった。
- ・市民の声を市が積極的に取り入れることで、市の施策が当事者の実情に沿い、課題を解決できうる内容になった。
- ・体験学習などの参加者募集がスムーズに行われたこと
- ・市との協働は市民等からの新来を得やすい。また、人材確保や資金確保に関する情報を得ることができた
- ・会員、参加者、支援者・団体に安心感を与えることが出来た。協働することにより新たなつながりが出来活動の幅が広がった
- ・活動の広がりや、イベントなどが信頼性が増すこと
- ・市と協働することで実績につながった。組織力が強固になった。

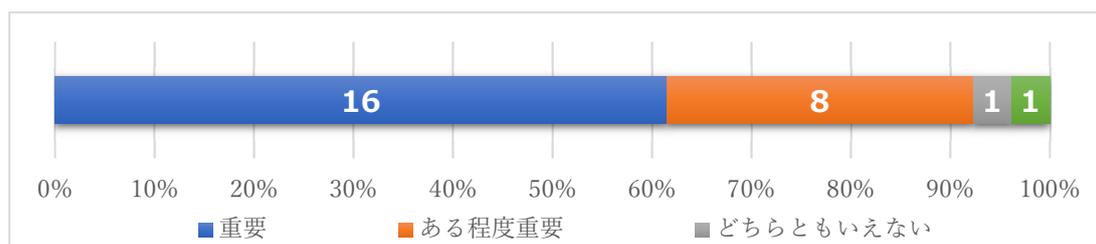
問20 あると答えた団体にお聞きします。困ったことは何ですか

- ・富士宮のポスターに入らない
- ・報告などの提出書類が多すぎる
- ・温度差を感じた
- ・①担当者の薄学、②担当者が短期間で部署移動、③何でも予算ありき
- ・手続きが手間だった
- ・ボランティア団体と市との協働の活動は、協議の時間をどれだけ重ねても、団体はボランティア活動（無給）、一方は市の職員としての職務（有給）。しかもその施策が市民団体の意見を取り入れた協働の事業であることが公表されず、結果として影武者扱いであることも多い。
- ・よい施策ができて委託事業レベルでないとなかなか団体名まで公表してもらえなかったり、落成式に招待されないこともある。しかし、団体にとって協働の取り組みは公表・報道されないと世間からの評価につながらず、継続的なボランティア活動への家族の理解が得られにくい。
- ・結果としてやりがい搾取となってしまう、会員のモチベーション低下や活動停滞につながる

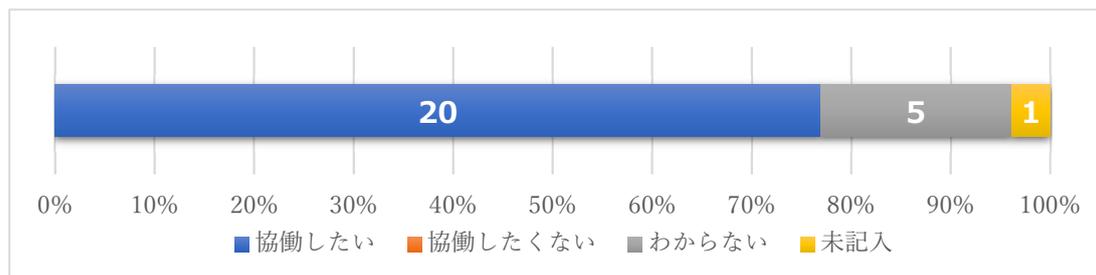
がっている。

- ・担当者の異動によって熱量が大きく変化することがある。
- ・日程等に連絡調整に時間がかかる
- ・人事異動により、また1からの説明が必要になること
- ・財政面に困難がないと思われてしまっている。
- ・自らの声を届けても届かないような市への要望を、私たちに代弁してほしいと懇願される。

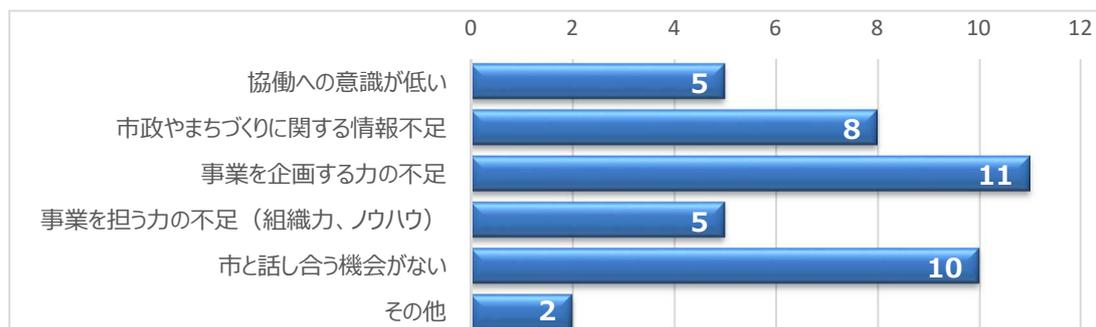
問21 よりよいまちづくりを進めるために、市との協働はどの程度重要と考えますか。



問22 今後、市や企業・自治会・地域の団体・他の団体と積極的に協働したいですか。

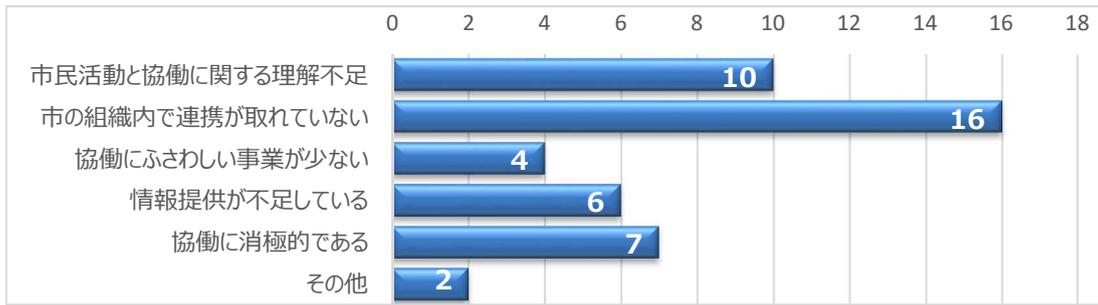


問23-1 市との協働を進める上でNPO等側の課題と思うことを教えてください



【その他】 熱量の違い / 無報酬のボランティアの場合、仕事と家庭の両立が難しい

問23-2 市との協働を進める上で市側の課題と思うことを教えてください



問24 貴団体が協働するとしたら、どのような団体（又は市の部署）と協働すれば効果があると思いますか（〇は3つまで）



【市担当課】市長直轄、企画戦略課、資産活用課、市民交流課、こども未来課、障がい療育支援課、健康増進課、花と緑と水の課、環境企画課、農業政策課、観光課、教育委員会、社会教育課、河川課

問25 市民協働でまちづくりを進めるために必要なことはどのようなことだと思いますか（〇は3つまで）



【その他】この指とまれ実行委員会

問 26 企業のCSR（社会的責任）の活動の1つとして社会貢献がありますが、企業に期待することは何ですか（〇は1つ）



【その他】企業別協働 / 本業とリンクさせ、継続的にコミットしてもらうこと

## 富士宮市協働の指針策定に伴う企業アンケート

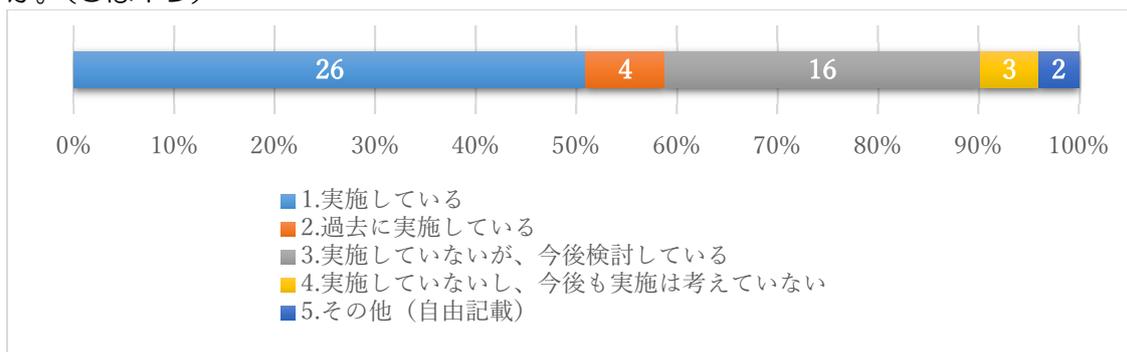
「企業の社会貢献と協働について」

実施期間：令和2年6月4日（木）～7月3日（金）

依頼先：静岡県中小企業家同友会富士宮支部 129 社

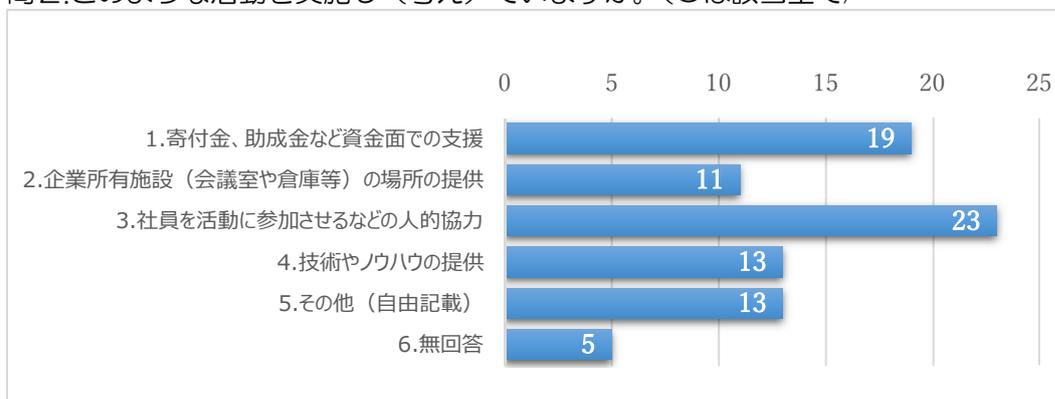
回答数：51（回収率 39.53%）

問1.貴社は企業として地域（主に富士宮市域）への社会貢献活動を実施し（考え）ていますか。（〇は1つ）



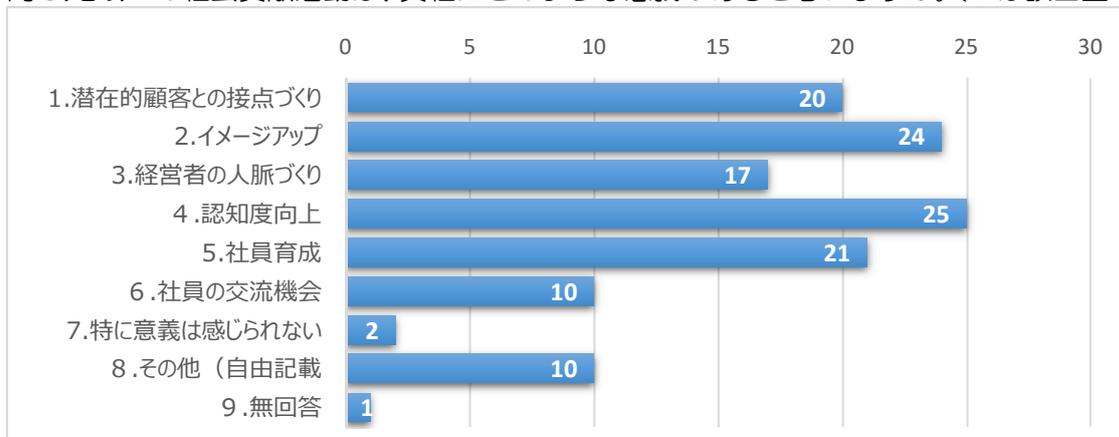
【自由記述】「社会貢献活動」の要件に無償ということが必須なら実施していない。／有償ではあるが、身よりのない方、社会生活に手助けが必要な方の成年後見人としての活動は有償ではあるが行っている／障害者雇用の推進、実習の受け入れ（定期的）は実施している。／個人的に区の副区長という立場で運営に携わっている。

問2.どのような活動を実施し（考え）ていますか。（〇は該当全て）



【自由記述】出来る貢献はしていきたい。／小学生向き会社見学等／地域内の課題の解決（牛フン処理）／まちおこし事業の運営・企画、各種を20年間続けています／具体的には考えられていない／雇用、市内学校での講演、工場見学の受入れ、災害協定など／NPOに参加、富士宮のお水をPRする活動をしている。浅間大社の新しいお守りや水みくじを仲間と提案。またお弁当カタログの制作とイベント開催の実績があります。／体験学習など子供達に対するイベント実施。／小、中学生の学習の協力（スポーツ含め）／町づくり、活性化事業を開業する。／実践、活動・地域の祭り、協賛、食品の補助、募金が多い。／献血等

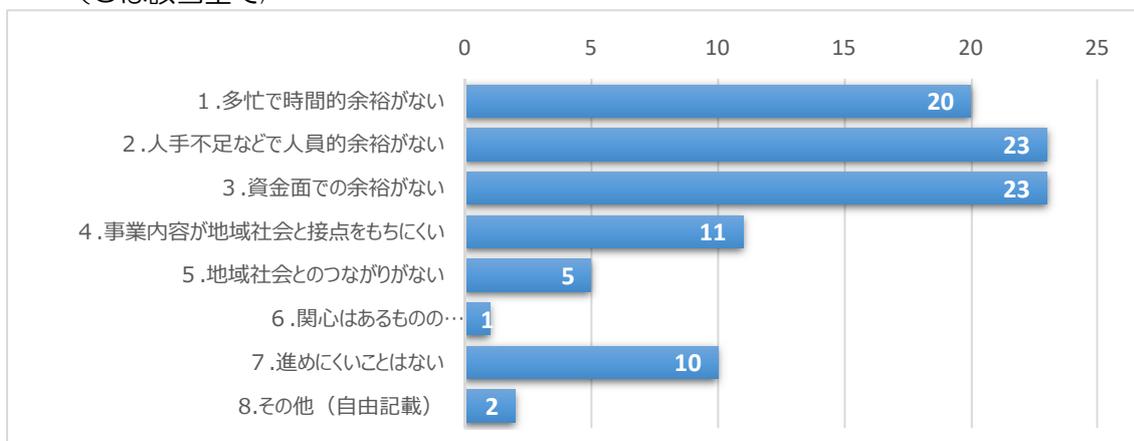
問3.地域への社会貢献活動は、貴社にどのような意義があると思いますか。(〇は該当全て)



【自由記述】 社会からの要請。／企業の社会的責任とそれを認知させ広める意義。／地域にあたりまえにあるので。／地域がよくなることで会社がよくなる。(逆もまた真)／地域社会との接点／社会経験のチャンス／地元富士宮市の活性や成長／何も求めず、奉仕の気持ちで参加しています。同じ地域で困っている方の為に少しでもお役に立ちたいです。／あまり考えていません。

問4.社会貢献活動を行うにあたり進めにくいと思われる点について教えてください。

(〇は該当全て)

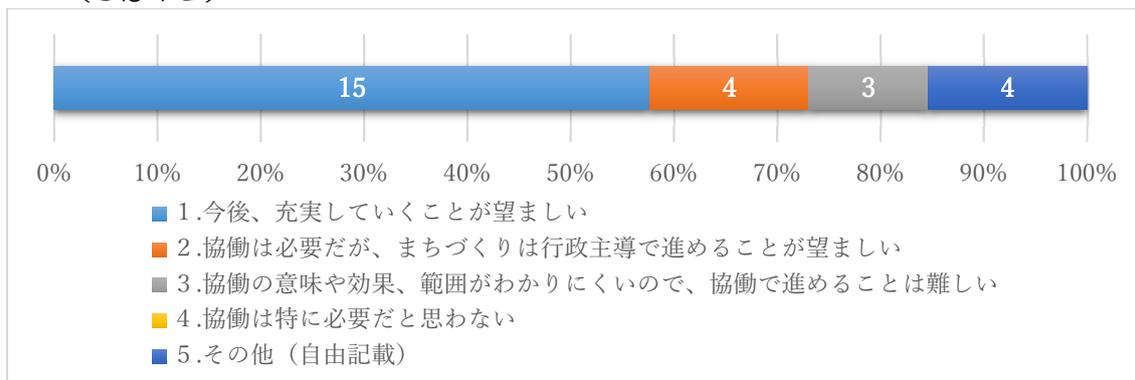


【自由記述】 地域と協働する為の具体策を考え、実行する力の不足。／活動の予定、計画などの情報がない (どこから収集するのか)

問5.「市民協働」という言葉やその内容を知っていましたか。(〇は1つ)

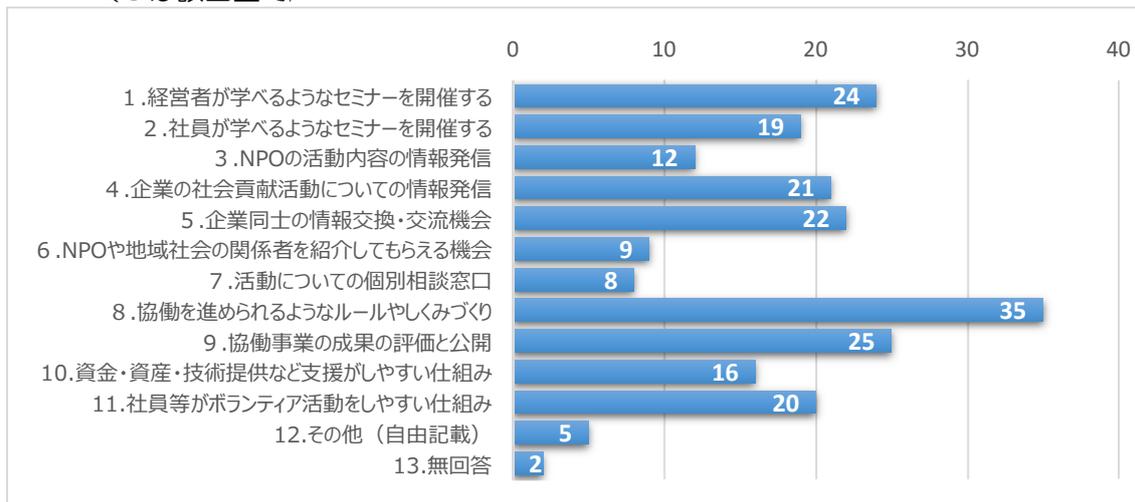


問6.市民協働によるまちづくりをすすめることについて、どのようにお考えですか。(〇は1つ)



【自由記述】 共通する目標をもつ団体、個人、行政を結びつけるようなステーションがあれば志のある人は自然と集まると思う。また広報も必要かと思う。／地域に対して協力したいと思う

問7.今後、企業の市民協働を進めていくためにどのようなことが必要だと思いますか。(〇は該当全て)



【自由記述】 市と企業合同の円単会議必要。すでに同反会との協力会議があるので、それをレベルアップする。／目標、目的によって違うと思います。／市の職員の意識向上と担当職員の継続参加の仕組み(部署が変わると離脱は痛し)／「富士市市民協働事業提案制度」の様な制度を制定。／向かう先、ビジョンを市民に分かりやすく伝えて頂けると市に対する愛着と危機感など豊かな未来のためにいなければならないことが自然発生していくと思います。

富士宮市役所【協働に関する職員意識アンケート】

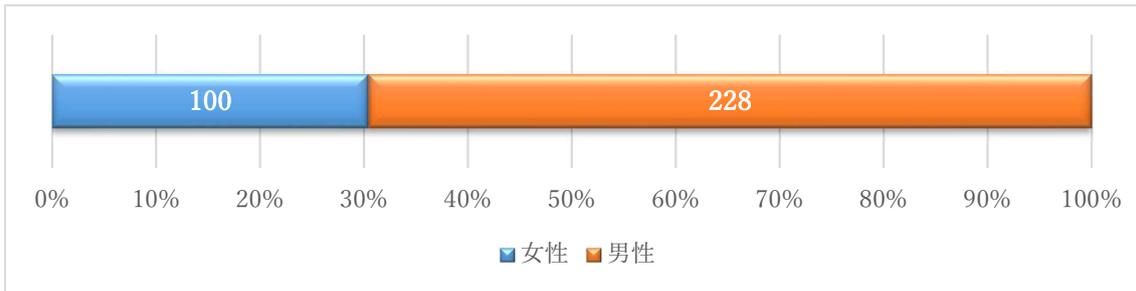
職員アンケート結果

実施日 R2.1.30～2.10 実施

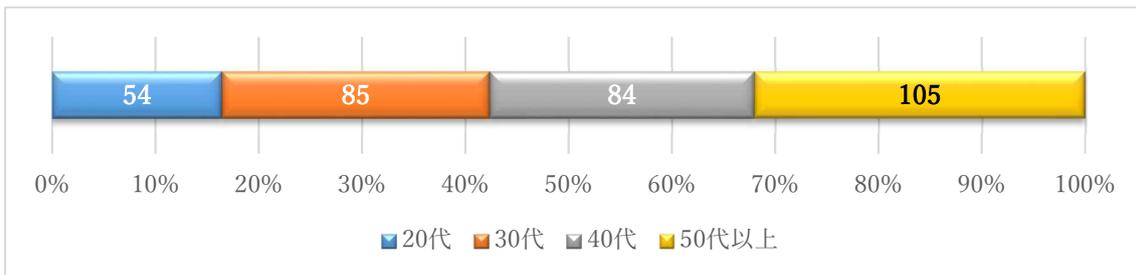
対象 富士宮市正規職員 636名  
(保育園・消防署・病院職員を除く)

回答数 328人 (回収率 51.6%)

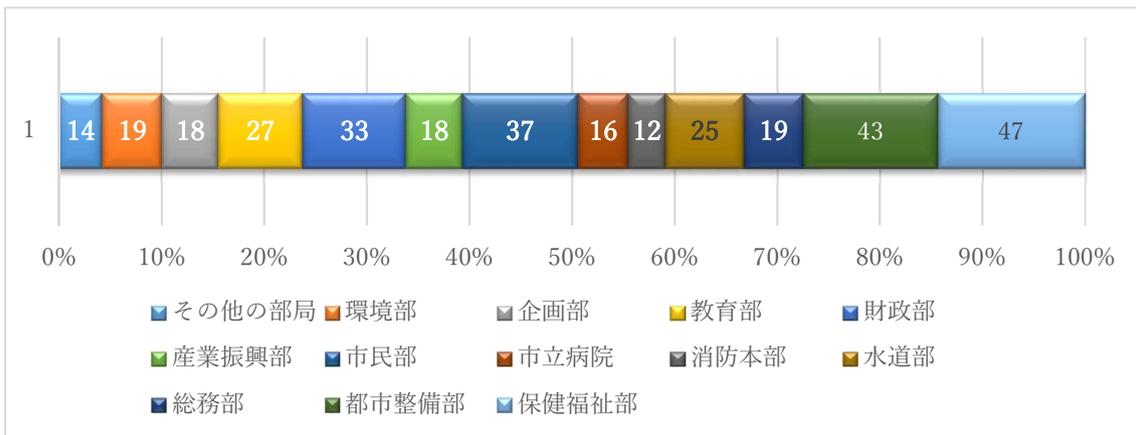
問1 男女



問2 年齢



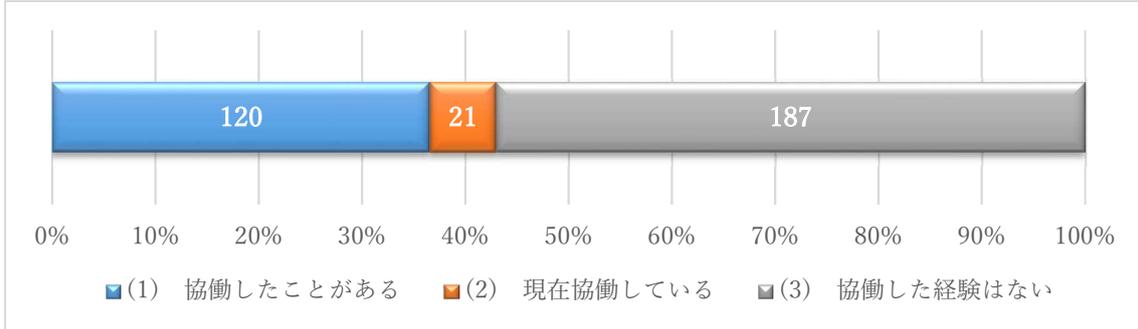
問3 所属



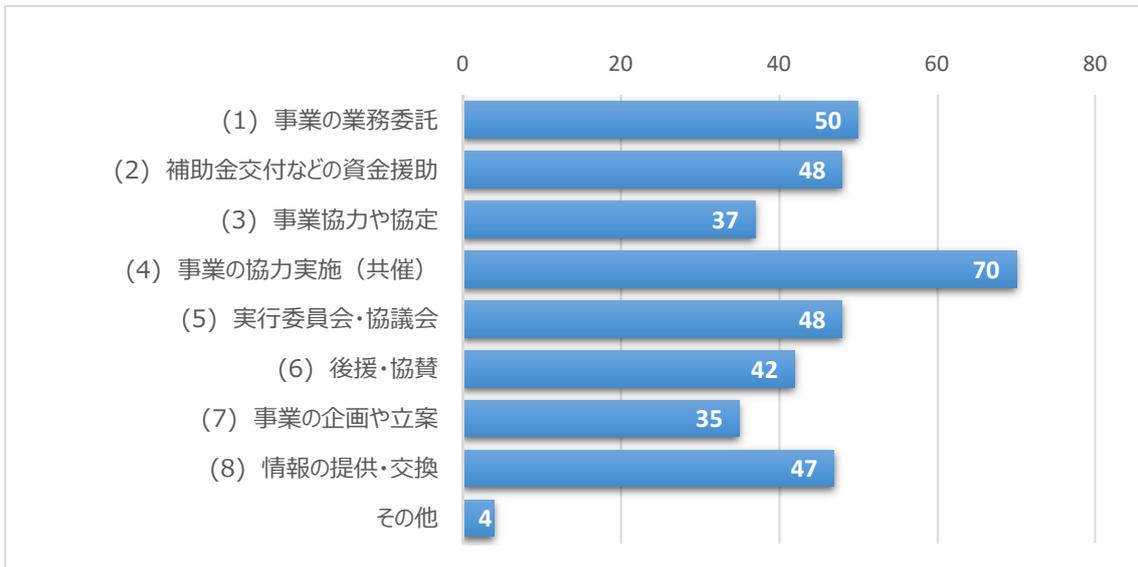
問4 あなたの役職は

※役職名が多く集計が難しいため省略しました。

問5 協働の経験

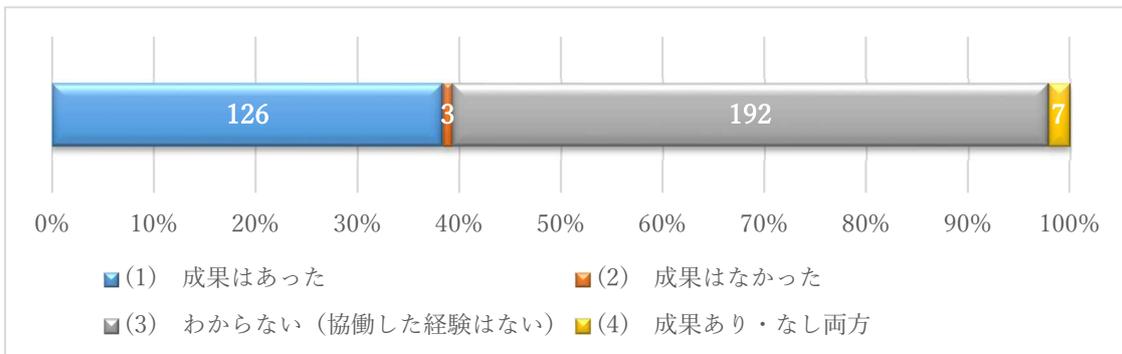


問6 協働したのはどのような内容でしたか。(複数回答可)

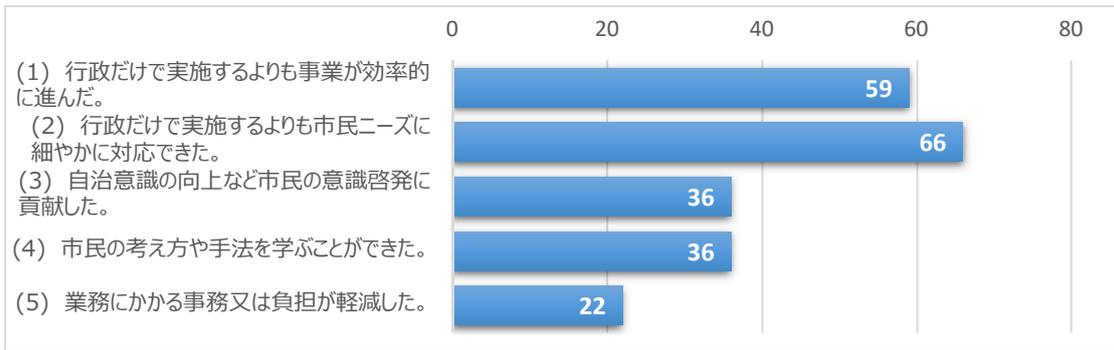


【その他】清掃／防災訓練／事業に使用する資材の提供／イベント実施に際する展示物の提供

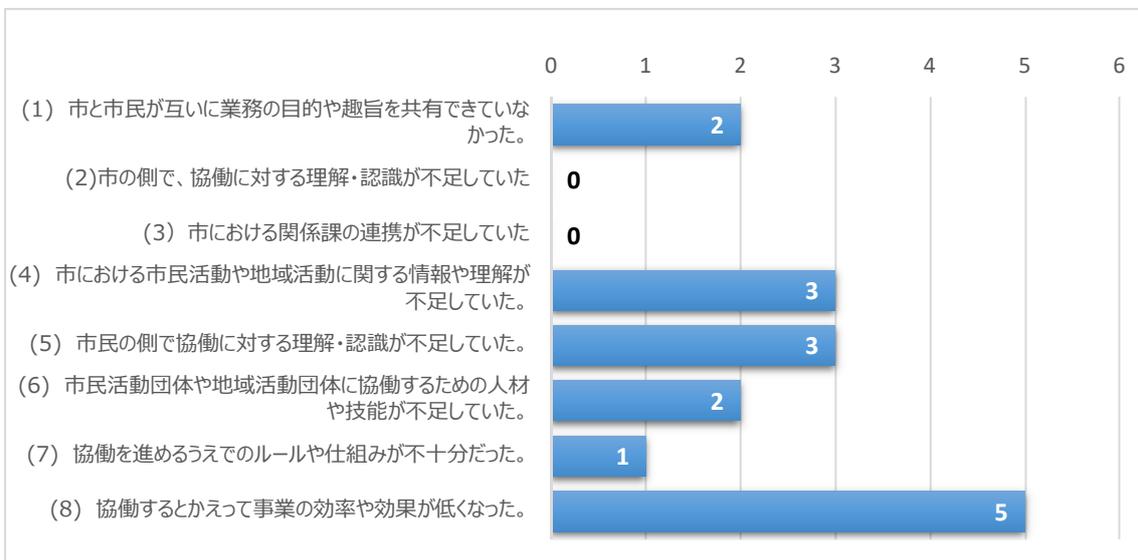
問7 協働したことの成果はありましたか。また、その理由を教えてください。



問8 どのような成果がありましたか。



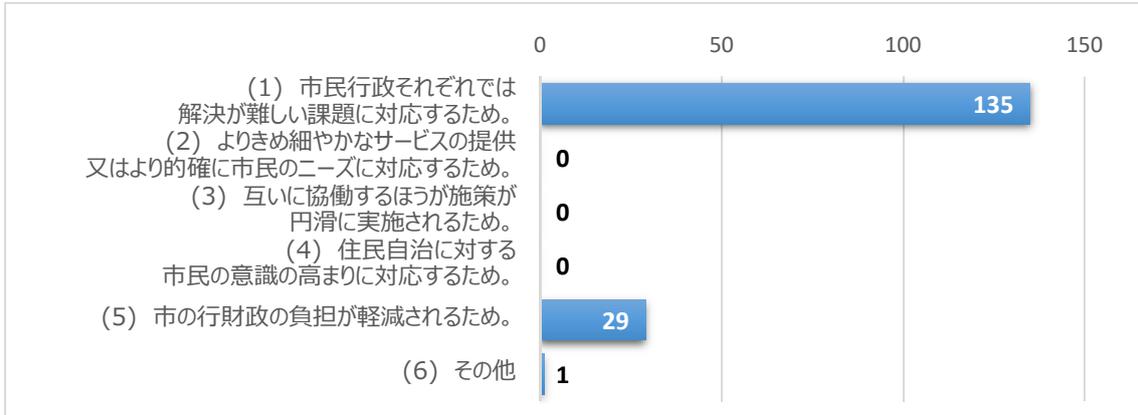
問9 成果がなかったのは、何が原因だったとおもいますか。



問10 市民が市政に参画し、また市民と行政が互いに協力しあってまちづくりに取り組む「協働」の必要性についておたずねします。

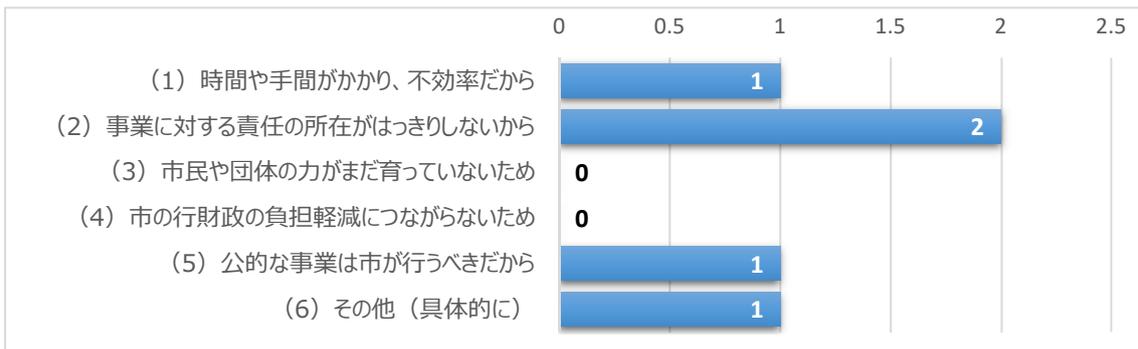


問1 1 協働が必要だと思う理由をおたずねします。



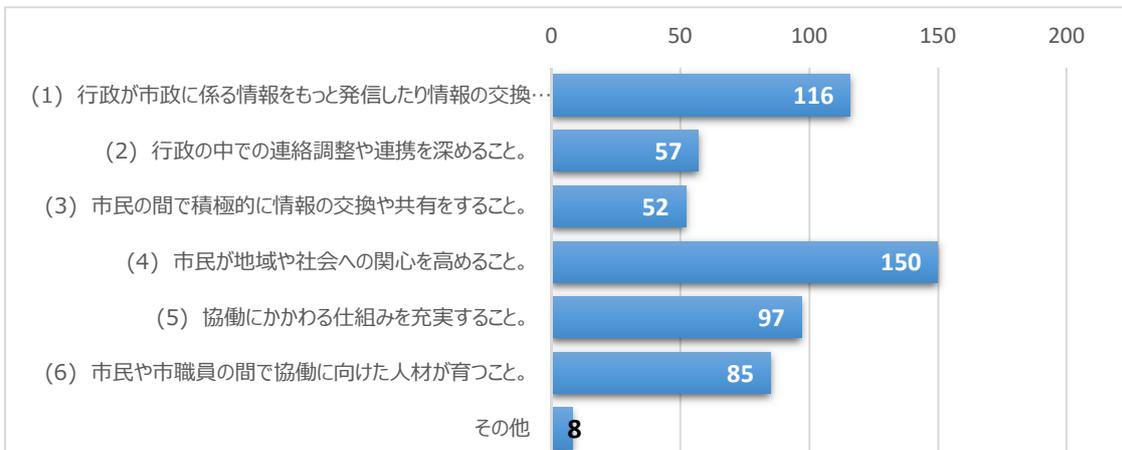
【その他】行政主導で実施する施策では予算的なまた行政の道義的な限界があり不十分な結果になるケースなど多いと思います。

問1 2 協働が不要だと思う理由をおたずねします。



【その他】市職員の関わりかたを少なくし、市民が主になって活動するようになっていく必要があると思うため。

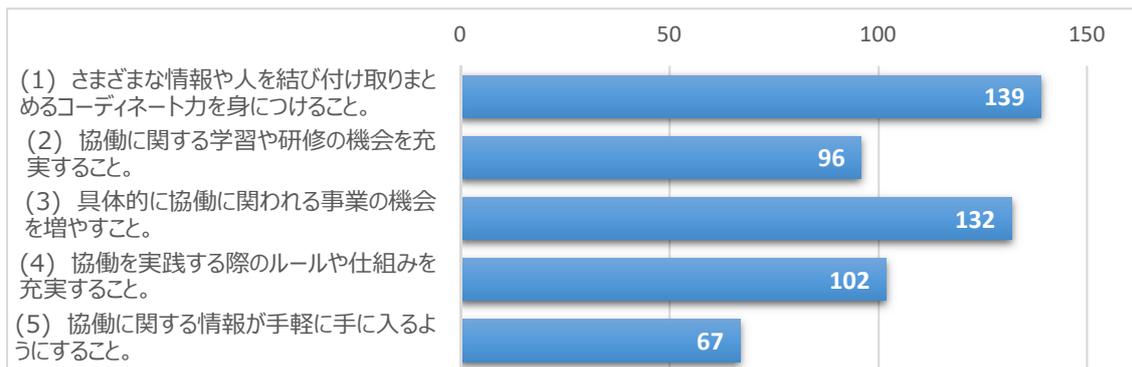
問1 3 協働のまちづくりを推進するためにどのような取り組みが必要だと思いますか。



【その他】

- ・行政が市民活動団体や自治会と協働している情報を発信すること。
- ・行政の発信と情報提供情報交換の機会を増やすことそうした場を作ることが必要だと思います。
- 関係する市民間の意見が最低限まとまるような環境(内容)づくり。
- ・行政が地域などに対して介入する範囲を明確にすることで市民が自分たちでやらなければならない部分や更に行政に携われる部分などを認識することが出来る。その結果として地元・活動行事などを守っていく意識が強くなるのでは。
- ・協働のニーズに応じた人員の確保
- ・効果のある協働について定義化され市民と行政の両方が同じ目標を持つこと。
- ・進めたい事業の目的を行政が協力団体に丁寧に伝えていく
- ・市職員が協働を必要とする事業を自覚すること

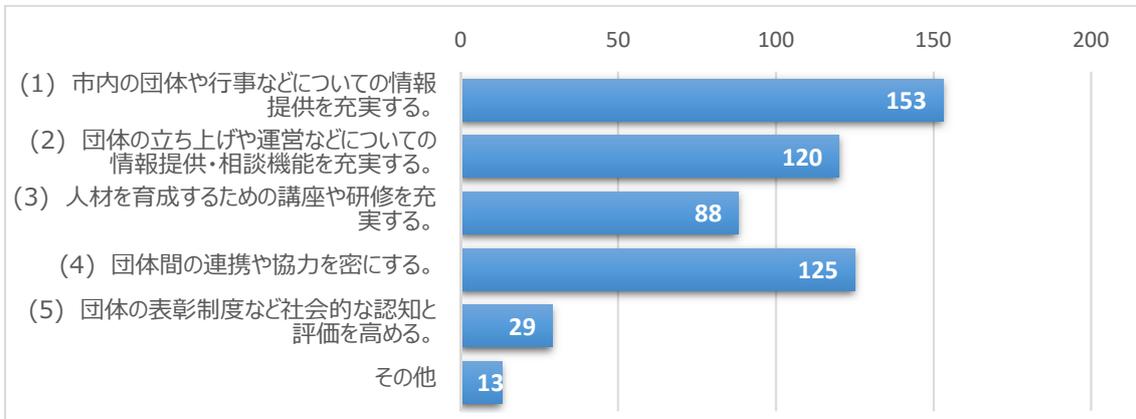
問14 市民や市職員が、協働に対する理解を深め、人材が育つようにするためには、どのような施策を充実することが必要だと思いますか。



【その他】

- ・自分の住む地域に関心を持つこと及び地域の一員としての仕事を任されること  
(町内会に帰属する・回覧板を見る・役に就く等)。
- ・事業の目的や実施方法を組み立てるスキルと相手住民や団体のニーズや要求を拾い対処していくコミュニケーションスキルと実行力
- ・組織の長が協働を必要とする事業を目標と達成期限を定め推進すること
- ・市民と行政が同じ目標(目的)達成感を共有すること。
- ・行政と民間の温度差をなくす。
- ・協働の意味とその必要性を市と市民が共有すること。
- ・他業務を圧迫せず協働の業務に取り組めるような体制の構築や人員の確保
- ・何をするための人材か?による。

問15 市民活動や地域活動が活発になるためには、どのような支援策を充実することが必要だと思いますか



【その他】

- ・なぜ設問が協働から市民活動に変わったのかわからないが市民活動も様々であるためケースバイケース。強いて言えばお互いの顔を知る機会を増やすこと。
- ・協働をすることによって市民に実感のあるメリットを提示すること  
行政が過度に介入しない。
- ・市自体の町づくりの主体を何をテーマに考えるか何を目標とするか PR する必要があります。
- ・自治会の負担軽減(自治会にいろいろな役割を負わせ過ぎ)
- ・(2)及びそれを教育にとりいれる。小規模な活動を検索しやすくし紹介し活動をし始めやすくする。
- ・今ある団体を活用する場を考え団体に提案する機会を与える。場合によっては自立するまで補助金が必要かもしれない。
- ・従来の市民協働の考え方から抜け出せていない。
- ・市内の先進的(より多くの市民に役立っている事業や市の方向性と合致している事業など)な取組みをしている団体をモデルに他団体に取組み紹介などを行う。
- ・地域活動をすることで行政に任せるよりも早く着手できる可能性があることの周知